踏　み　跡　＜My　Mountains＞

磐梯吾妻	安達太良山と猫魔ケ岳	No.291

夏休みのかみさんと一緒の山歩き、今年はどこへ行こうか？この夏ははっきりしない天気が続いていてあまり晴れやかな気分になれないので、少しでも天気が良さそうなところへ行こうと言う発想から東北地方を選ぶことになった。そして、未踏の山、懸案事項になっている山を洗った結果、会津の二岐山と二岐温泉が浮上したが、具体化していく内に、もっと北へ行こうかということになり、安達太良山と岳温泉それと付近のどこかの山をというプランも出てきた。二案をぶら下げた状態で出発することにした。また、老母を何日も一人にしておく訳にはいかないので、次女に留守番を頼んで二人での山旅がスタートした。

平成１０年７月１６日
早起きして出発、天気は曇り。二岐山へ行くか安達太良山にするか迷いながら車は発車。ラジオの天気予報を聞いている内に、少しでも北へ行った方が良さそうだという結論に達して安達太良山に決定。
方針は決まったが今度はアクシデント。国道 16 号線は大渋滞、おまけに行く先の東北自動車道は人身事故による渋滞との情報。このまま岩槻 IC 経由東北自動車道へのコースにこだわるとえらいことになるかもしれない。「柏 IC から常磐自動車道に入って常陸太田から山越えして福島県に入ろう」とハンドルを握りながらの大英断、。
柏 IC から那珂 IC まで常磐自動車道、那珂から走り慣れた道を常陸太田、里美村と通り抜けて福島県に入り

塙・石川を経て須賀川 IC で東北自動車道へ。そして二本松 IC で降りて岳温泉へ。
岳温泉に着いて最初の仕事は今夜の宿の確保。国民年金保養センター阿多多羅を予約してまずは一安心、明日の登山のために下見のドライブとする。
奥岳温泉の渓谷沿いの自然探勝路を散策して、明朝乗る予定のゴンドラの始発時刻を確認後本日のメニューは終了。夕暮れ時から雨が降って来たが、明日に期待を込めてとりあえず温泉を楽しむこととした。

平成１０年７月１７日
朝起きてすぐに空模様が気になり窓から確認。曇っているが雲の流れを見ると上がって行くような感じなので安堵の思いで朝食。
今夜の宿を確保（裏磐梯国民休暇村を電話で予約）した後、8 時 15 分に出発。ファミリーマートで昼食を調達して奥岳温泉へ。奥岳温泉は海抜 900m、あだたら高原スキー場の駐車場に車を置いて「あだたらエクスプレス」という厳めしい名前が付いているゴンドラの駅へ。ゴンドラは片道券¥850。
山頂駅（海抜 1350m ぐらいか？）に 9 時に到着。霧が深いが視界が確保できる程度で歩くのには心配はない。9 時 05 分出発、ゆるやかな傾斜の稜線の登り。

安達太良山（1699.6m）10 時 16 分、霧の中で景色は何も見えない。峰ノ辻へ下って馬の背経由で矢筈森を越えて鉄山（1709.3m）に 11 時 25 分到着。登山客はひとりだけしかいない。風を避けて休憩中に薄日が差し始めてきた。12 時に出発。（左写真：霧の安達太良山）
少しずつ体が濡れてくるような霧。峰ノ辻に戻って勢至平に下ろうと思ったが、間違えてくろがね小屋に下りてしまった。霧ではなく霧雨の状態になってきた。

踏　み　跡　＜My　Mountains＞

くろがね小屋から勢至平を抜けるまでは、あまり起伏のない平らな道で、のんびりと歩くことができる。勢至平の花を期待したが、もう終わりで、しかも背丈ほどの灌木帯で見晴らしもあまりよくない。
奥岳温泉の駐車場で一息ついて今宵の宿へ移動。土湯トンネルまできたら晴れてきた。レイクラインを通って秋元湖・小野川湖経由で桧原湖湖畔の国民休暇村へ。
明日は天気が良ければ雄国沼と猫魔ケ岳を歩いてみることにした。

平成１０年７月１８日
朝が爽やかな晴れだと、その日の幸運を告げられているような気分になる。しかし、朝から青空が広がりかなり暑くなりそうな感じがする。
8 時 30 分出発。コンビニで昼食用食糧を購入して雄国沼入口である雄子沢川の駐車場に 9 時に到着。ラッキーなことに我が車をもって駐車場は満車になってしまい、後続の車は路上駐車を始めている。
駐車場を 9 時 10 分に出発。雄子沢川に沿ってブナ・ミズナラの林をゆっくりと登って行く。落ち着いた雰囲気の樹林の中をリラックスして歩いていたら、カモシカの子どもと出会った。
雄国沼（沼の北端）に 10 時 20 分到着。この沼はカルデラ湖で、海抜 1090m を少々下回るぐらいの高さと思われる。そのまま沼の北東部を横切って猫魔ケ岳への登山路に入る。途中で小中学校の団体とすれ違ってかなりロスタイムが発生したが、おかげで歩行中の休憩が沢山とれてよかった。

猫魔ケ岳（1404m　一等三角点）12 時ちょうど。磐梯山が目の前に聳え立ち、その横に吾妻連峰、飯豊連峰は半分雲の中。南に猪苗代湖、西に雄国沼、北に桧原湖、どちらを向いても湖沼が視界に入る景色。（左写真））
双葉電子工業消防隊というユニフォームを着た 30 人ほどの団体が来ていたが、「異様な制服の軍団」という感じで周囲の景色から浮いて見えた。昼食と中休止をとって 12 時 50 分に出発。
下り道では団体さんとすれ違うこともなくスムースに進むことができ、14 時に沼の北端に帰着。沼の南西側にある湿原植物群落を見に行ってみることにしたが、片道 30 分+探勝時間で予想以上に時間がかかった。

雄子沢川の駐車場に戻るともう 16 時。顔を洗えるような場所が用意されていない只の駐車場なので、濡れたシャツを着替えて靴を履き替えてすぐに出発。
五色沼・猪苗代湖などを車窓から楽しみつつ、途中のお店で土産物を物色しながら国道 49 号線をドライブ。磐梯熱海温泉で入浴して着替えて、国道 4 号線の郡山南部で夕食を済ませて須賀川 IC から東北自動車道に入った。夕食ももう済ませたので、家に帰ったら風呂に入って寝るだけ、すっかり安心してゆっくり走り、自宅帰着は 23 時 30 分だった。

以上

猫魔ケ岳から見た磐梯山の威風堂々ぶりが気に入ったので、いつの日か登って見たい山として書き加えることにした。それにしても二岐山はまた懸案事項になった。国民年金保養センター阿多多羅の売店で「会津百名山ガイダンス」という本を見つけて買ってきた。ここからも何か良い山が出てくるかもしれない。